

えがお大東っ子 第1号



発行のご挨拶

教育長 中口 馨

大東市教育委員会編集の『えがお大東っ子』の発行にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

まずはじめに、日々お子さんの子育て・教育に心をくだき、ご苦労いただいております保護者の皆さま方に敬意を表します。

私は南郷小学校を昭和29年に卒業しました。その当時は同校の校歌に「春は青麦菜の花に 秋は黄金の稲の波」と歌われておりますように田園風景が広がり、阪奈道路からは、信じられないかもしれませんが京阪電車を見ることができました。その後、大都市大阪の衛星都市として都市化が進み、人口増加と共に次々と学校の建設が進み、小学校は4校から15校へ、中学校は3校が8校になりました。時間の流れが街の姿を変えていくように、今日の生活様式の多様化・価値観の多様化は大人の生活だけでなく、子どもの育ち・遊び・学び環境にも大いに影響を与え、学校現場にもおよんでいます。

童謡『雀の学校』の中で♪雀の学校の先生は むちを振り振り ちいばっば 生徒の雀は 輪になって お口をそろえて ちいばっば まだまだいけない…♪と歌われるような、先生から一方的に教わるスタイルから、今では自ら学び・自ら考える「生きる力」を育む時代となってきました。

教育委員会は各学校の取組みが社会の変革にも対応し、新しい感覚で教育・授業づくりがなされるよう指導・助言を行っております。各校の取組みについては各学校からの『学校だより』で紹介されていますが、他校区の保護者にとっては「よそはどんなことをしているか見えない」ということもあります。そこで今回、大東市教育委員会のめざす子ども像と各校の取組みを紹介することにより、大東の子どもの輝きを増す一助にするとともに、全体のレベルアップにつなげてまいりたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

①「豊かな心」「確かな学力」と「健やかな体」を身につけた子ども

②「自ら学ぶ力」と「学び合う力」をつけた子ども

大東のめざす子ども像

③自分や友だち、家族を大切に、地域を支える子ども

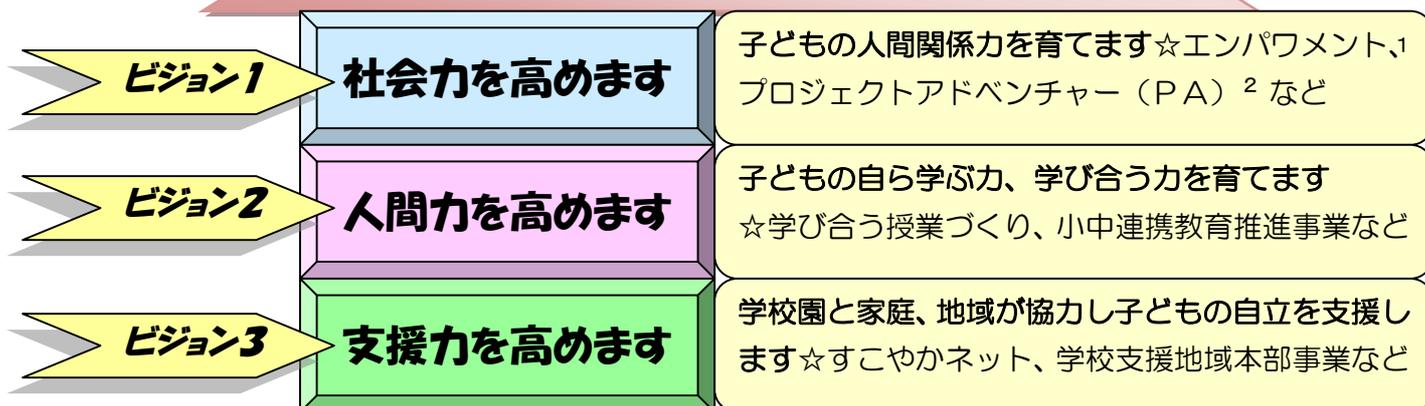
④生涯にわたって自ら学び続けようとする子ども

「学び合い」で豊かな心と確かな学力を育てます

大東市では昨年4月より「大東市教育ビジョン」をスタートしました。これは今後、10年間を見通して、大東市の教育の方向性や、目標、具体的な施策を基本構想として発表したものです。（大東のめざす子ども像は前ページに掲載）

基本理念

学び合い、学び続ける明日の市民の育成



1. エンパワメント…集団づくりを通して、子どもが本来持つ力（自分自身の生き方を自分で決めていく力）、社会性を高める活動
2. プロジェクトアドベンチャー（PA）…体験活動を通して、コミュニケーション力、問題解決力などを育む教育プログラム

今年度の取組みより



子どもたちが 学ぶ喜びを実感する 授業づくり

学んだことを一生懸命友だちに説明したり、わからないところは友だちにたずねたり、一緒に問題を考えたり、自分の学びを友だちに役立てる「学び合う」授業づくりを小・中学校で進めていきます。

教室に大型テレビとパソコン

を設置しました



小学校の全教室と中学校の特別教室に、大型デジタルTV（52インチ）とノートパソコンが1台ずつ設置されました。また、校内LANの工事も全校で終了し、職員室や各教室がネットワークで接続され、学校のICT（情報通信技術）環境の整備が大きく進みました。



パソコン教室以外の教室や特別教室でも、TVやインターネットはもちろんプロジェクターや電子ボードなども活用して、よりわかりやすい効果的な授業を展開することをめざしています。また、子どもたちの情報活用力や情報モラルの学習もより一層充実を図ります。さらに職員室では、学校での事務の効率化や教材研究・授業づくりに役立つよう教職員用のパソコン（全校で615台）が配置されました。ICT機器の活用を通して、子どもたちが、より主体的に学習に取り組み、豊かな思考力・表現力を育むことをめざしています。

受講者募集中



「学力向上ゼミナール」やっています！

野崎青少年教育センター・北条青少年教育センターにて

今年度5月8日より大東市立野崎青少年教育センター及び北条青少年教育センターにて学力向上ゼミナールを開設し、市内の小学6年生、中学生の学力向上を確かなものにするため、一年間のカリキュラムを策定し実施しています。

現在、小学生が29名、中学生が28名参加しています。教科は、小学6年生が算数、中学生が数学と英語です。内容は教科書を中心に予習型学習を進めています。予習をしておくことで、自信を持って授業に取り組めるようになります。

実施日時は毎週土曜日、小学6年生は午前9時～10時、中学生は午前10時10分～12時15分。指導は全国学習塾協会から派遣された塾の先生が行います。料金は、小学生が1ヶ月1,000円、中学生が1ヶ月2,000円です。学力向上ゼミナールは有料となりますので、保護者の同意の上で申し込んでください。受講は随時受け付けていますので、毎月初めからの入会ができます。

（問合せ先：大東市教育委員会事務局 教育政策室
人権教育グループ TEL 072-870-9104）



家庭教育 ヒントコーナー

笑顔が一番の贈り物(^o^)

世界で一番長い言葉は何でしょうか？答えは英語の“笑顔”（smiles 複数形）です。はじめのSと終わりのSの間には、約1.6キロメートルの距離を表す「mile」（マイル）という単位が含まれているからです。そして、世界で一番短い言葉も“笑顔”です。それは“笑顔”に込められた温かさや優しさが瞬時に相手の心に届くからです。

笑顔は子どもの元気を引き出す力があります。子どもに安心感を与える不思議な力があります。日々の生活の中ではつらいことや泣きたくなることもいっぱいあるでしょう。でも、「笑顔を忘れない」、そこからきっと幸せが生まれます。今日も子どもたちに笑顔を贈れる1日でありますように！ V (^o^) V





Daito 学校園めぐり NO. 1

住道中学校

生徒数：587名
校長：岡本 功



「学び合い・認め合い ・高め合い」をめざして

本校では班活動など全校あげての「仲間づくり」に取り組んでおり、生徒どうしのつながりを基盤にして、各行事、クラブ活動、生徒会活動がとても盛んです。また、下記のとおり

学力向上にも力を注いでいます。

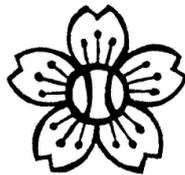
- ① 「学び合う授業づくり」の研究推進
- ② 学習会『土曜チャレンジ』『放課後まなび舎』
- ③ 補充学習会『住中スタディ』（火曜日実施）
- ④ 『毎日宿題』（教科の宿題以外にも）
- ⑤ 『終礼時学習』（全クラス、毎日10分間）
- ⑥ 『朝の読書』（校内静寂の時間帯）



ブログ形式のホームページで学校の取り組み <本校の伝統行事「合唱コンクール」> や生徒の様子を毎日発信しています。 <http://ed.city.daito.osaka.jp/sumi-jhs/>

四条小学校

児童数：219名
校長：清水 検次



生きることに喜びを感じ、 ともに学び、育ちあえる 子どもを育てる

創立から138年目の本年が現所在地での教育活動最後の年となります。来年度は四条南小学校との統合により、四条南小学校校舎に移転し、新たな四条小学校として出発します。

本校はすべての教育活動に人権教育の理念を持ち、次の4つの方針を掲げ、活動を行っています。

- 1. 人権教育・部落問題
学習の推進
- 2. すべての子どもに確
かな学力保障を
- 3. 学習権の保障に根ざ
した不登校対応
- 4. 保護者・地域に信頼
された学校づくり



<ラーニング>



<ふれ愛交流でい>

より具体的な内容は、近々ホームページに掲載する予定です。
<http://ed.city.daito.osaka.jp/sijo-es/>